充実感と達成動機づけの関係について

日中大学生を対象に

○李艶

(聖泉大学人間学部人間心理学科)

キーワード: 達成動機、充実感、大学生。

The relationship between Sense of fulfillment and achievement motivation
For Japanese & Chinese college student

LI Yan

(Seisen University Department of psychology)

Key Words: Sense of fulfillment, achievement motivation, college student

目 的

充実感は生きがいと類似した概念として、青年心理学の領域で多く取り扱われてきた。本研究では、青年が健康な自我同一性を統合していく過程で感じられる自己肯定的な感情を充実感と呼ぶこととする。達成動機は「ものごとを最後までやり遂げたい。困難なことにも挑戦し、成功させたい」という動機を定義される。達成動機研究においては、男女差は早くから指摘されており、Hoener(1968) は達成動機の高い女性には成功回避動機があるという理論を展開した。女性が充実感を求め、達成しようと動機づけられても、これは男性や男性中心社会に対して“女性らしさの喪失への恐怖”であるとした。充実感と達成動機の関係性についての研究は少なく、皆無と言っても過言ではない。本研究の目的は充実感と達成動機の関係性について検討し、その関係の国の差・男女の差、も研究する。

方 法

調査対象

関西にある私立大学生日本人 103 名、中国留学生 86 名、計 189 名に実施した。

調査時期

2017 年 7 月から 11 月まで。

調査内容

達成動機尺度は堀野(1987)、充実感尺度は近藤・鎌田(1998)の作成したものを参考に質問紙を作成した。5 件法により回答を求めた。

結 果

調査データについて多変量分析を行った。表 1 は充実感の因子構造と達成動機づけの因子構造を示した。表 2 は全体の充実感と達成動機の相関関係を示している。表 3 は日本人学生の充実感と達成動機の相関関係を示している。表 4 は中国人留学生の充実感と達成動機の相関関係を示している。

考 察

結果から、今までに成し遂げてきたことが、自分を肯定する自信に繋がっていることが考えられる。そこから充実感が生まれると言える。また、精神的満足感が自分を肯定することに繋がっていることが考えられる。生活環境を整えれば自分を肯定する感情が生まれやすくなるということで、ある程度の目標を設定して達成しようとする人ほど、自己肯定に繋がっていることが考えられる。

本研究で日中大学生の達成動機と充実感の違いが明らかになったが、男女の差が有意ではなかった。今後調査人数を増やして、さらに質問紙の再検討を行うところだ。

表1 達成動機と充実感の因子構造(全体)						
項目	Factor1	共通性	項目	Factor1	Factor2	Factor3 共通性
7	.746	.556	21	.929	-.082	-.098 .708
13	.704	.496	22	.780	.011	-.051 .585
6	.649	.421	19	.728	-.094	.070 .505
1	.634	.402	24	.634	.002	.050 .436
8	.626	.392	20	.563	.142	-.010 .428
5	.608	.369	23	.558	.234	.082 .581
15	.598	.358	27	-.120	.792	.053 .546
9	.594	.353	29	-.027	.736	-.029 .510
3	.578	.334	28	.046	.708	-.133 .507
14	.490	.240	30	.014	.584	.089 .387
10	.489	.239	26	.197	.561	.017 .495
4	.475	.226	18	.066	-.078	.816 .688
12	.467	.218	16	-.154	.038	.800 .561
2	.437	.191	17	.128	.027	.747 .676
11	.430	.185				
因子寄与	4.979		因子寄与	4.550	3.816	2.762

表2 全体の充実感と達成動機づけの相関関係				
	社会達成	モチベーション	充実	達成動機
社会達成	1.000			
モチベーション	.550 **	1.000		
充実	.400 **	.221 *	1.000	
達成動機	.511 **	.692 **	.117	1.000

表3 日本人の充実感と達成動機づけの相関関係				
	社会達成	モチベーション	充実	達成動機
社会達成	1.000			
モチベーション	.585 **	1.000		
充実	.318 **	.254 *	1.000	
達成動機	.587 **	.707 **	.191	1.000

表4 中国人の充実感と達成動機づけの相関関係				
	社会達成	モチベーション	充実	達成動機
社会達成	1.000			
モチベーション	.365 *	1.000		
充実	.607 **	.098	1.000	
達成動機	.323 +	.749 **	-.070	1.000
** $p < .01$, * $p < .05$, + $p < .10$				

引用文献

Horner,M. 1974 The measurement and behavioral implications of fear of success in women. In J. W. Atkinson & J. O. Raynor(Eds), *Motivation and achievement. Washington D. C.: Winston. Pp. 91-117.*

LI, Y 2004 Comparative study of work value of Chinese and Japanese workers. The Scientific Comittee of the 28th International Congress of Psychology (ICP2004)

堀 洋道監修 心理測定尺度集Ⅱ 対人関係と価値観